

## 活性化モデル商店街の概要

商店街名：大府商工会議所

### ●キャッチフレーズ

「おかげさま」精神を持ち、店のファンづくりを経営の基幹とする個店を集めた商店街をつくる。

## ◎商店街の将来ビジョン

### 【現状】

商業の現状をみると事業所数は 495 店から 391 店と（平成 24 年度/平成 19 年度対比）減少しており、年々大府市の小売業（小規模商店）は衰退を続けている。

### 【課題】

意欲ある個店が力をつけ、且つ個店の魅力を創出し、お客と顔と顔を合わせる「ふれ合い」を大切にすることで大型ショッピングセンターにない特長を出すことが求められる。

### 【対策】

大府市は、2010 年～2020 年の第 5 次総合計画（平成 22 年 1 月発行）大府市総合計画を踏まえ、また従来からの活動の問題点を加味して次のことを重点方策として実施する。

- ・スタンプラリーなどイベントによる交流を重点とした一店逸品・逸サービス運動から、消費者の目線でモノづくり・店づくりを重点とした一店逸品・逸サービス運動への転換
- ・地域資源を活用した共同で取り組む「健康逸品」の開発
- ・交流人口を増やすためのイベントの企画・実施

## ◎具体的に取組む事業内容

### ○個性・魅力の創出事業（28 年度～32 年度）

- ①参加店皆で創り上げる「おおぶ・逸品運動事業」の実施（28 年度～32 年度）
- ②ふれあいゼミナールの実施（28 年度～32 年度）
- ③イベントの企画・運営、地域イベントへの個店の参加（28 年度～32 年度）
- ④大府あきんど塾の開催（28 年度～32 年度）
- ⑤共同DM発送の実施（28 年度～32 年度）
- ⑥店の魅力を照会する冊子を作成するなどの情報発信（28 年度～32 年度）
- ⑦地域資源を活用した健康逸品の開発・販売に関する調査・研究（28 年度～）、試作（29 年度～）、披露（30 年度～）、改善（31 年度）、商品化（32 年度）